

学校教育計画					
教育方針		校訓「愛・敬・誠」を実践し、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を行う。 心からの思いやりと真心をもって“誠心誠意”人にも事にも尽くすことのできる人間を育てる。			
前年度の成果と課題		本年度の重点目標		全体評価	
・個別指導の徹底を図り、進学・就職の実績をあげるよう、より高い目標を目指して実践する必要がある。 ・生徒会活動や清掃奉仕等のボランティア活動に積極的に取り組めた。 ・部活動では全国大会で優勝するなど大いに成果をあげた。		1. 本校生としての誇りを持ち、自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。 2. 学ぶ目標を持ち、その実現に努める生徒を育成する。 3. 社会に貢献できる生徒を育成する。		B	
評価項目	本年度の主な活動目標	本年度の主な具体的方策	評価	次年度の改善策	
教科 指導	国語	国語を適切に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす	朝の読書の徹底と校内漢字テストの充実	B	豊かな文章表現力を養う為にも朝の読書をもっと徹底させたい
	地歴公民	地歴公民への興味・関心を高め、幅広い知識や教養を育んでいく	ICT機器を積極的に活用し、身近な出来事を取り入れながら生徒とともに学んでいく	B	コロナ禍により社会情勢に詳しい生徒も多い。電子黒板をさらに活用し、生徒に国際社会や経済、地理・歴史について興味・関心を深めさせていく
	数学	日常生活の疑問点を数学的思考力を養うことで、解決できる能力を身に付	授業や課外活動を通じて、解けると「楽しい」ことを体験し、身の回りに存在する数学を自分の計算で確かめる	C	数学的事象と日常生活との結びつきを関連づける機会が少なかった。生徒が興味を持てる授業を展開したい
	理科	論理的思考力と基礎計算力を身に付けることで、自然現象に対する理解を深める	学習したことを基に、意見をまとめ発表できるような授業や課題になるよう工夫する	C	日常生活における種々の事象をうまく取り込んでいきたいと考える
	保健体育	運動への関心を高め、積極的に取り組む姿勢を養う	継続的に運動、部活動に取り組む 基本的な生活習慣に心がけ健康な体をつくる	B	個々に応じた運動を継続的にを行い、体力の向上を目指し、健康的な体をつくる
	芸術	芸術についての表現力を養い、感性豊かな人間性の育成を目指す	美術の鑑賞体験を増やし、個人・グループによる「表現」に重点を置いた授業を実施する	B	創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わえるような体験を重視して取り組みたい
	英語	自ら発信する力を育成し、ICTを活用した双方向の学習を充実させる	定期考査ごとに教員の研修を行い、教科指導力のみならずICT機器の運用能力を高める	B	興味関心が持てる授業になるよう各教科担当が工夫し、生徒の学習意欲の向上につなげていきたい
	家庭	家庭や地域の生活に関わる実践的な知識と技術を習得させる	学習内容をよく吟味し、生活に役立つ知識を教えていく	B	生活に役立つ実践的な知識を重点視し、衛生面に配慮した授業を行う
	情報	メディアリテラシー(情報活用能力)を身に付けさせ、情報社会に主体的に参画する力を養う	授業においてメディアリテラシーを身に付けさせ、実習を通して実践力を養う	B	全体的に、絵師とはメディアリテラシーはある程度身に付けている。個人課題が多く、グループワークが少なかったため、次年度はグループワークを活性化させたい
	商業	商業科の専門科目の修得に全力を尽くす	専門科目の提出物を必ず提出させる	B	コロナ禍で授業時間数が少ない中、生徒は専門科目をよく修得したと思うが授業内容の工夫も必要である
看護	看護実践における自らの課題に取り組み、基礎的能力を養う	シミュレーション教育やアクティブラーニングを活用し実践能力を向上させる	B	より実生活に必要な学習をすることで、福祉を身近に感じる心を育てる	
福祉	福祉の意義を理解し、実践しようとする心と行動力を育てる	興味関心を高めさせ、実践することで自尊心を育てる	B	基礎看護技術・看護の展開方法を学ぶ内容として、シミュレーション教育などを活用した演習を強化する	
教務	ICTを活用した学校改革	生徒・教員のICT機器の活用力を向上させるため日々の実践を重ねる	B	ICTを活用したアウトプット型の授業の実現のために、機器の整備と教員の研修を行う	
総務	誠之会活動に保護者の参加を促す	誠之会行事の内容を分かりやすく説明して、保護者に参加を呼びかける	B	周知の徹底や用具・整備の向上を図り、清掃や危機管理意識の能動的な改善を目指す	
総務(管理)	学校生活の安全を図り、また環境美化に努める	避難訓練、全校一斉清掃の重要性を認識させ、真剣かつ緊張感を持って取り組	C	学校HP等を利用して、保護者に誠之会行事参加を促す	
生徒指導	尽誠学園高等学校生として自覚と誇りを持ち、社会に有用な人物になるため、自ら考え、判断し、行動できる人材を育成する	生徒を理解するための活動(個人面談、家庭訪問)を充実させ、生徒の思いと背景を理解し、生徒の自己実現を支援する活動に重点を置く	B	生徒の自主活動を促進する環境の整備(教員自身の研鑽を中心に)	
進路指導(進学)	生徒が自分の進路を見つめる機会となるイベントを開催する	外部講師を招き、年間計画に基づき各学年に応じた講演会を開催する	B	教員間の意思疎通をより一層深め、生徒一人ひとりに応じた指導をおこない満足度の高い進路の実現につなげていきたい	
進路指導(就職)	就職100%の実績を今年度も達成する	教員と生徒との話し合いによる密な意思疎通と時間をかけた就職指導	B	進路変更で就職する者に対して、密な情報共有や指導時間を増やす	
人権・同和教育	現職教育や現地研修で互いの人権意識を高める。	生徒と共に「人を思う心」を大切に、互いの人権感覚を高める	B	コロナ禍での現職教育に対して色々取り組む	
保健体育	健康に留意し、感染症の予防を徹底する	換気をこまめに行い、うがい、手指消毒の励行	B	新型コロナウイルスにより換気、手指消毒等、年度当初はこまめに行っていたが、慣れもあり注意しないと出来なくなった。これらを常習化していきたい	
教育相談	充実した高校生活になるためのサポートを行う	しっかりと傾聴することで、生徒の思いに寄り添う教員を目指す	B	生徒の変化に気付くように、日頃より生徒とのコミュニケーションを大切に	
特活	集団の中で、人間関係をよりよく形成する生徒を育成する	集団や社会に参画し、問題を解決していく機会を作る	C	コロナ感染対策を実施した学校行事を運営する	
厚生	集団生活での感染予防に気を配る	集団生活での感染予防に気を配る	B	感染予防対策を徹底したため、感染者が出なかった。次年度さらに発生から感染者が出ないように	
1年団	高校生としての自覚を持たせ、責任ある行動が取れるようにする	身だしなみを整え、挨拶の励行や時間を守らせる	B	高校生として自覚ある行動をとらせるには、自分の将来についてしっかりと考えさせ、目標を持たせるようにする	
2年団	2年生としての自覚を持たせ、自分の行動に責任がとれあう生徒の育成	尽誠学園の生徒として当たり前なのが自然にできるように育成する	B	生徒指導全般に個人差があるので改善する	
3年団	有終の美を飾る	就職・進学100% 全員で卒業	B	高校生活に早く順応し、落ち着いた学習環境を整える	
商業科	各種検定取得に全力を尽くす	尽誠塾に積極的に出席させる	C	検定取得者の人数は増加したが、尽誠塾の参加者はいつも決まっている。もっと興味をもてるような工夫が必要である	
衛生看護科	必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う	シミュレーション教育やアクティブラーニングを活用し、主体的な学習を促す	B	目標と評価を明確にし、科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う	
特進・進学コース	進路指導に関する情報共有を行い、生徒が希望する進路の実現に役立つ	有益な情報を得た際に、校内メーリングシステムを用いて情報共有を行う	B	全ての教員が等しい指導を提供できるような研鑽を積み、スキルアップを図りたい	
体育コース	文武両道	健康管理をしっかりと行い、何事にも全力で取り組む	B	手指消毒、うがい、マスクの着用を励行する。学校生活を基準とした生活習慣を身につかせる。部活動に全力で取り組む	
教養コース	現代社会において即戦力として活躍する人材を育成する	規範意識を高める ICT機器を活用できる力を育てる 自己の目指す進路に合わせた個別指導を充実させる	B	基本的な学校生活習慣を整える。明確な進路目標を設定し、学力向上と資格検定取得に取り組む	

評価基準 A・・・十分達成できている B・・・おおむね達成できている C・・・どちらかといえば達成できていない D・・・ほとんどできていない